

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】令和 1 年 8 月 8 日 (2019.8.8)

【公開番号】特開 2018-43781 (P2018-43781A)
 【公開日】平成 30 年 3 月 22 日 (2018.3.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-011
 【出願番号】特願 2016-181238 (P2016-181238)
 【国際特許分類】

B 6 5 B 37/12 (2006.01)

A 6 1 J 3/00 (2006.01)

B 6 5 D 83/04 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 37/12

A 6 1 J 3/00 3 1 0 Z

B 6 5 D 83/04 F

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 28 日 (2019.6.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カセット本体と、該カセット本体に回転可能に設けられたロータとを備え、前記ロータに前記カセット本体に収容された錠剤を前記カセット本体に設けられた錠剤排出孔に案内する複数の錠剤案内路が形成された錠剤カセットにおいて、

前記カセット本体の内周面に、隣接する前記錠剤案内路の間で、又は前記錠剤案内路に跨って横向きに倒れた前記錠剤の先端部の下面が接触する突起が形成され、

前記突起は、前記錠剤案内路のロータ回転方向における下流側入口部の外周側端部よりも上方に位置し、

前記突起は、前記ロータ回転方向における上流側から下流側に向かって高さが漸次高くなるように形成されていることを特徴とする錠剤カセット。

【請求項 2】

前記錠剤案内路の下流側入口部は、上流側入口部より低いことを特徴とする請求項 1 に記載の錠剤カセット。

【請求項 3】

前記錠剤案内路の下流側入口部は、前記ロータ回転方向における下流側に向かって上方に傾斜していることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の錠剤カセット。

【請求項 4】

前記錠剤案内路の寸法は錠剤の大きさ及び形状に応じて変更可能に設けられていることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の錠剤カセット。

【請求項 5】

カセット本体と、該カセット本体に回転可能に設けられたロータとを備え、前記ロータに前記カセット本体に収容された錠剤を前記カセット本体に設けられた錠剤排出孔に案内する複数の錠剤案内路が形成された錠剤カセットの錠剤排出方法において、

隣接する前記錠剤案内路の間で、又は前記錠剤案内路に跨って横向きに倒れた前記錠剤の先端部の下面を前記カセット本体に形成された突起に接触させることにより、前記錠剤

の先端部を起こして上向きに姿勢を変え、前記錠剤の後端部から前記錠剤案内路に誘導することを特徴とする錠剤排出方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

前記課題を解決するための手段として、本発明の錠剤カセットは、

(１) カセット本体と、該カセット本体に回転可能に設けられたロータとを備え、前記ロータに前記カセット本体に収容された錠剤を前記カセット本体に設けられた錠剤排出孔に案内する複数の錠剤案内路が形成された錠剤カセットにおいて、

前記カセット本体の内周面に、隣接する前記錠剤案内路の間で、又は前記錠剤案内路に跨って横向きに倒れた前記錠剤の先端部の下面が接触する突起が形成され、

前記突起は、前記錠剤案内路のロータ回転方向における下流側入口部の外周側端部よりも上方に位置し、

前記突起は、前記ロータ回転方向における上流側から下流側に向かって高さが漸次高くなるように形成されている。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

(２) 前記錠剤案内路の下流側入口部は、上流側入口部より低いことが好ましい。

(３) 前記錠剤案内路の下流側入口部は、前記ロータ回転方向における下流側に向かって上方に傾斜していることが好ましい。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

(４) また、前記錠剤案内路の寸法は錠剤の大きさ及び形状に応じて変更可能に設けられていることが好ましい。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

(５) 前記課題を解決するための手段として、本発明の錠剤排出方法は、

カセット本体と、該カセット本体に回転可能に設けられたロータとを備え、前記ロータに前記カセット本体に収容された錠剤を前記カセット本体に設けられた錠剤排出孔に案内する複数の錠剤案内路が形成された錠剤カセットの錠剤排出方法において、

隣接する前記錠剤案内路の間で、又は前記錠剤案内路に跨って横向きに倒れた前記錠剤

の先端部の下面を前記カセット本体に形成された突起に接触させることにより、前記錠剤の先端部を起こして上向きに姿勢を変え、前記錠剤の後端部から前記錠剤案内路に誘導する方法である。